

河川整備計画(原案)の概要

む こ がわ

武庫川水系河川整備計画 (原案)

の概要

- 1 これまでの経緯
- 2 河川整備計画とは
- 3 計画の目標
- 4 課題を踏まえた治水対策の選定
- 5 総合的な治水対策の推進
- 6 洪水に対する安全度のさらなる向上
- 7 動植物の生活環境の保全・再生
- 8 河川整備計画(原案)の構成など


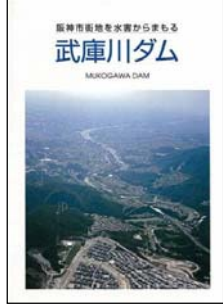
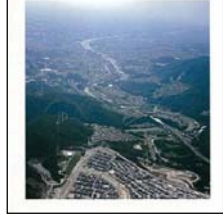






兵庫県

1 これまでの経緯

「武庫川改修計画平面図」(大正9年～昭和3年)

これまでの経緯

<p>昭和62年度</p>	<p>昭和58年洪水を契機に 尼崎・西宮・伊丹・宝塚市域 で河川改修事業に着手</p>	 <p>昭和58年洪水 (宝塚市)</p> <p>河川改修事業</p>
<p>平成5年度</p>	<p>武庫川ダム建設事業に着手</p>	 <p>阪神市街地を水害から守る 武庫川ダム MIKOGAWA DAM</p>
<p>平成12年度</p>	<p>武庫川峡谷の自然環境に与える影響が大きいというダム反対の声が大きくなり、平成9年の河川法改正の流れもあって、 「合意形成の新たな取り組みを行うとともに、総合的な治水対策についてゼロベースから検討する」 ことを兵庫県知事が表明(平成12年9月)</p>	

<p>平成15年度</p>	<p>学識経験者や地域住民の幅広い意見を反映させた計画を作成するため、「武庫川流域委員会」を設置 (平成16年3月)</p>	 <p>武庫川流域委員会</p>
<p>平成16年度</p>	<p>進めてきた河川改修事業の整備水準を超える規模の洪水が発生</p>	 <p>生瀬</p>
<p>平成18年度</p>	<p>武庫川流域委員会が提言書を知事に提出(平成18年8月) (説明用補足資料)資料5-2</p>	 <p>提言書を知事に提出</p>
<p>平成20年度</p>	<p>国土交通大臣の同意を得て「武庫川水系河川整備基本方針」を策定(平成21年3月10日)</p>	 <p>武庫川水系河川整備基本方針 平成21年3月 国土交通省</p>



明治10年頃の地形図

2 河川整備計画とは

河川の計画
(河川整備計画とは)



基本方針: 河川法第16条
整備計画: 河川法第16条の2

基本方針の目標達成に向けて
概ね20~30年間で実施する
河川整備の内容

河川整備の
最終目標

策定済

武庫川水系
河川整備**基本方針**

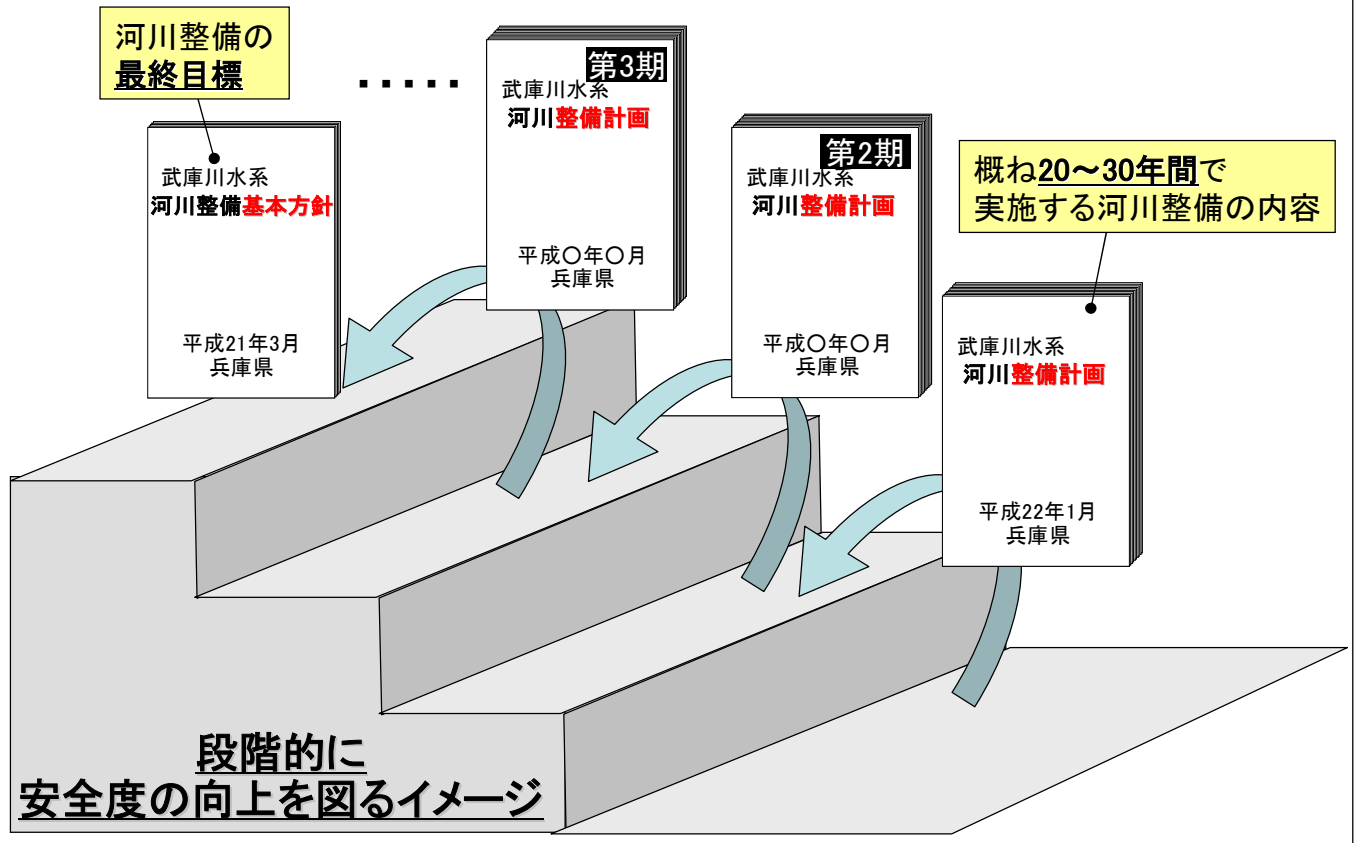
平成21年3月
兵庫県

今回

武庫川水系
河川整備**計画**
(原案)

平成22年1月
兵庫県

基本方針との関係を階段に例えると



段階的な安全度の向上

河川整備基本方針の整備目標を達成するには、物理的・社会的・財政的等の視点からみても多くの期間を要するため、20~30年間で全てを完成させることは困難である。



河川整備計画で、適切な整備目標を設定し、河川整備基本方針の整備目標達成に向け、段階的に洪水に対する安全度を向上させる。